

S.E.N.S 養成カリキュラム シラバス (2018 年度版)

C. 指 導

◇「計算する・推論する」の指導 (3 時間 : 1 P)

【 概 要 】

算数・数学の学習の基礎となる「計算する・推論する」の困難について、数概念、数処理、ワーキングメモリーなど算数・数学の習得に関わる認知特性の関連について概説する。LD、ADHD、ASD 等の「発達障害」にみられる「計算する・推論する」の困難の具体像について述べる。「計算する・推論する」のアセスメント方法、つまずきの原因、原因に応じた支援方法、指導教材と支援の実際について、事例をあげながら具体的に説明する。

【 キーワード 】

数概念、基数性、序数性、数処理、ワーキングメモリー、注意、プランニング、イメージ化、計算、暗算、筆算、文章題、図式化

【 到達目標と評価 】

- ①「計算する」の基礎となる数量概念、数処理の発達とその困難について基本的な説明ができる。
- ②「推論する」の基礎となる文章理解力、立式等の困難について基本的な説明ができる。
- ③「計算する・推論する」のアセスメント方法を具体的に挙げるができる。
- ④「計算する・推論する」のつまずきの具体像とその原因について説明することができる。
- ⑤つまずきの特性に応じた指導プログラムの必要性がわかり、つまずきの原因と指導の方法・内容を関連づけて述べるができる。